

### 第3回逗子市地域自治システム逗子小学校区懇話会 会議概要

日 時：平成 25 年 7 月 4 日（木）19：00～21：00

場 所：逗子市役所 5 階会議室

出席者：（メンバー） 4 5 名

（アドバイザー）名和田法政大学法学部教授

（市）平野経営企画部長、谷津経営企画部次長、廣末企画課長、仁科企画係長、田口主事補、森本市民協働部担当部長、細野市民協働課専任主査、木下市民協働コーディネーター

#### 1. 開会

#### 2. 「ずしの新しい地域自治」の仕組みの詳細の検討（1）

##### ○ 質問（「ずしの新しい地域自治」についての疑問点） 1

（メンバー）

この仕組みが地域に必要なのか。それを納得しないうちにプログラムを進めても意味がないので徹底的に話し合うべきであるという質問に対し、「この場合は、すでに決まった制度の案をみなさんにご説明しご納得いただくための場ではなく、市がこれから制度をつくるにあたって皆さんにご意見をいただく場である。」という事務局の回答に矛盾を感じる。第一回目の時は市長、副市長、議員まできて議会で可決されたことが進んでいる会なのかと思った。まちづくりトークや広報ずしで地域自治システムについて情報提供をしているというが理解するのが難しい。個人ではなく会の代表として参加しているので納得しないと進めてもむなし。

（メンバー）

5年間にわたって住民に呼び掛け、小学生からお年寄りまで集まって逗子の30年後を考え議会を経てできたのがまちづくり基本計画である。住民を無視しているわけではなく、住民の声からできていることを理解すべきである。

（メンバー）

制度を作ることが前提なのか。制度に何をいれるのかを検討して欲しいということなのか。制度は決まっているのか。

（メンバー）

参加する側からすると、スタートが遅れているという市の説明は道が決まっているようにとれる。

協議会ありきで説明を聞いているだけの印象を受ける。最初に工程表をだされると何を云っても無駄なのか、むなしくも感じる。

（メンバー）

住民協議会の事業等を進める為にどのような組織で進めるのか、どうしたらよいか、その議

論をするべきだと思う。

沼間は8ヶ月5回、小坪は7ヶ月、池子と久木は5ヶ月に対し、逗子は4ヶ月とつまっているのは、市が決めた期日に合わせているように考える。

#### ○ 事務局より回答

- ・ 決まったことを説明しているわけではなく、みなさんの意見を踏まえながら制度を固めてまいりたいと懇話会を開催している。
- ・ この地域自治システムは議会の承認を得たまちづくり基本計画の中の施策の1つであるが、この仕組みはまちづくりトーク等で素案を紹介し、制度化したときの文言の肉付けを今、している。いただいた意見を踏まえて逗子市としての制度のアウトラインを固めていきたい。
- ・ 市としては地域の活性化を考えていくなかで小学校区を単位とした地域自治システム、地域単位の協議会をつくる必要があると考える。市長と企画課で素案を作り、みなさんにお示ししている。この案に対し、こうしたら協議会がうまく立ちあがるのではないかという意見をいただきたい。
- ・ これまでの配付資料をご覧くださいと逗子市がどういうことを考えているかがわかっていただけると考えている。
- ・ 工程表を示したのは意見をいただくスケジュールを示したに過ぎない。目標なので、必要であれば回を重ねることに異存はない。
- ・ いただいたワークシートの意見を踏まえて議論していただくともた新しい意見がでると考えている。また、全体を振り返る機会も作りたい。

#### ○ 制度成立後の流れと市の支援について事務局から説明

(メンバー)

アダプト事業とは。

(事務局)

里親と言う意味で公園や道路、河川などの公共空間を特定地域の方が里親となって綺麗にする等。市と契約を交わしているのが現状。

(メンバー)

交付金区分の共通と選択のちがいは？

(事務局)

- ・ 共通というのは共通事業のことで、逗子市内5つの小学校区、協議会で共通して行っていただきたい事業のこと。選択は選択事業のことで、市から提示する事業メニューの中から小学校区によって選べる事業である。
- ・ 資料に記載してある事業は、協議会で実施していただくことが決まっているわけではなく、現在市で行っている事業や市では行っていないものもあり、あくまでも例示で

ある。

○ グループでの意見交換（住民自治協議会の要件と認定、住民自治協議会の事業等）

（メンバー）

市側で問題提起をしているが、市は誠意をもってこたえていない。

まず逗子小学校区の広さの問題を解決すべきである。小学校区ありきで話しが進んでいるが、ごみを出すエリアや、逗子の民生委員 70 人単位でエリアをわけると細かくエリアを分けるべきである。第 1 の問題が残っている。

（メンバー）

全体的に高齢者が多い。若い人もいて、中堅もいて話ができるといい答えがでてくると思う。

（メンバー）

自治という言葉のあいまいさが頭を混乱させているにもかかわらず、話がどんどん進んでいく。

○ 名和田アドバイザーよりコメント

- ・自治という概念が日本全体で動いている。
- ・エリア設定について、日本は小学校区が定番であるが、連合自治会のエリアを選ぶか小学校区を選ぶかだと連合自治会のエリアを選ぶ事例が多い。新宿区の場合、出張所ごとに連合自治会をつくった。目黒区には連合自治会がなかったので小学校区ごとに協議会をつくった。逗子は連合自治会があるところとないところがある。子どものことを考えるとどうだろうか。字ごとに分けるのか。もう少し地域目線で話し合いをしてもよいと思う。
- ・逗子小学校区の懇話会では、多くの意見書などが提出されて、ポテンシャルの高さを感じる。今後の話し合いでそのポテンシャルをいい制度の形に向けて活かしていただきたい。みなさんの協力も必要。

3. その他

- ・ 第 5 回目も開催する。  
8 月 28 日（水） 19：00～、市役所 5 階会議室。
- ・ 次回は 8 月 8 日（木） 19：00～21：00、市役所 5 階会議室。